

令和8年7月16日

長田中だより

第5号

校長 藤田 明子

情熱の歯科医院さん

学校歯科医 中村医院様の素顔

かなり丁寧に時間をかけての御指導



先生と歯科衛生士さん



ブラッシング指導

歯科衛生士さんへのインタビュー

Q1 歯科衛生士を選ばれた理由は何ですか？

A1 食事や口の中に興味がありました。歯科衛生士という職業があることを知って進もうと思いました。自分の口の中をきれいにしたい、という思いもあります。

Q2 やりがいはどのようなことでしょうか。

A2 患者さんに、「あなたのおかげでご飯がおいしいよ」と笑顔になってもらえること。おいしいものを食べてください、というきっかけになり、笑顔になって下さればうれしいです。

中村先生へのインタビュー

Q1 先生は、かなり丁寧に検診をしたり、ブラッシング指導をしたりして下さいます。その原動力は何でしょうか。

A1 みなさんが健康に生活することが最大の目的。学校歯科医としてはあたりまえのことなんです。教育的指導をすることは当然の努めなんです。私は開業して、口の中を

見て思いました。これにいくら歯にかぶせても、入れ歯を作っても、またすぐこわれてしまう。もっと早く勝負しないと。学校もふくめて小さい頃から虫歯にしないっていう。今はフッ化物洗口があるので虫歯は減っています。しかし、歯石はついていて、歯磨きは悪いし、歯周病になるかもしれない、歯並びが悪い子もいます。学校歯科医師として診療室以外でも、つまり一種の社会貢献として活動することが大事だと思っています。

Q2 一番のやりがいとか楽しさをお聞かせください。

A2 長田中学校でも虫歯を示す数値は変化しています。このようなデータの変化を正しく見ることは大切です。

DMFTという数値（永久歯の虫歯経験を一人当たり何本あるか数値化した指標）は、以前は1人3本でしたが、今は1.0前後なんです。そういう数値の変化を正確に見ることで、公衆衛生の面からも改善がみられるのは嬉しいことです。フッ化物洗口の効果もありますね。また小さい頃に覚えたことってずっと残っていると思うんです。ブラッシング効果もずっと頭の中に残っているのではないかと思います。

以前、中学生の生徒を部活動のお手伝いをして見ていたことがあるんですが、その子が、働いてうちに通ってきて、歯の治療を定期的にしたり歯のそうじにきたりしているんです。そういうことは嬉しいですね。